

評価結果反映報告書

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの 2022 年度業務実績評価結果の主要な反映状況

評価項目	評価における主な指摘事項	2023 年度の業務運営等への反映状況
2022 年度業務実績評価 全体評価	都産技研の各支所等において、地域の産業特性を踏まえつつ、市場ニーズを的確に捉えた製品開発等支援の一層の充実を期待する。	<p>以下の取り組みを通じて、製品開発等支援の充実を図っている。さらに、金融機関などと連携し、地域企業への PR 活動を進め、利用促進につなげている。</p> <p>1) 多摩テクノプラザ 環境負荷低減に向けて電動化が進展するモビリティ産業を支援する目的で、機器の整備を 2022 年度から開始。2024 年度に完了予定。2023 年度までに 20 機器の整備を完了し、順次支援を開始</p> <p>2) 城東支所 現在、建物改修中。2025 年度再開に向け、伝統産業等をデジタル化で支援するための整備を行い、支援機能を拡充予定</p> <p>3) 城南支所 精密加工産業における高品質化・高付加価値化の支援を強化するために、機器整備を 2021 年度から開始。2024 年度に完了予定。2023 年度までに 5 機器を整備し、順次支援を開始</p> <p>4) 墨田支所・食品技術センター 社会的課題解決に向けた新製品開発支援のため、活発な活動を支える障害者用具等研究開発推進事業や、フードテックによる中小企業支援事業をそれぞれ担当</p> <p>次期中期計画では、新たな機器整備等により、地域のみならず都全域中小企業の利用につながる支援内容を拡充予定</p>

<p>2022 年度業務実績評価 全体評価</p>	<p>都産技研が率先してSDGsの実現やGXの推進に向けた組織運営を行い、中小企業をリードする役割を果たすことが望まれる。</p>	<p>SDGsの実現及びGX推進の分野において、中小企業をリードする以下の取り組みを実施している。</p> <p>1) 都産技研が中小企業をリードする取り組み</p> <p>① 省エネルギー 空調運転の見直しなど継続的な節電の取組や環境に配慮した機器選定などにより、省エネ法の「事業者クラス分け評価制度」では7年連続で最上位評価を獲得</p> <p>② ゼロエミッション化 2026年度まで以下の施工を実施中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ EV用急速充電設備の設置 ・ 太陽光パネルの設置 ・ 照明のLED化 <p>2) 研究開発の取り組み SDGs及びGXを達成する手段としてサーキュラーエコノミーに注目した事業を2025年度まで推進中</p> <p>2023年度は、食品ロス及びプラスチックの削減と、その取組の中でのカーボンニュートラルに貢献するエネルギー利用及び削減の可能性について、国内外の技術動向調査を実施</p> <p>その結果から、中小企業が参入可能な領域を指し示すリーフレットの作成や中小企業への普及啓発セミナーを開催</p>
-------------------------------	---	--